神戸芸術工科大学保護者向け情報誌『ケイディユーアイ』

KDUi

Kobe Design University infomation

2020・9 No.90
Vol.32-1

CONTENTS

02 〈特集〉新型コロナウイルス感染症への対策と取り組み
大学行事に関する主な対応／学長あいさつ など

04 〈特集〉各学科のコロナ禍における取り組み
各学科のコロナ禍での授業への取り組みを紹介します

08 前期授業を終えて／新型コロナウイルス感染症の発症時の対応
09 キャリアセンターからのお知らせ

10 〈特集〉神戸芸工大生の未来
内定者インタビュー

12 お知らせ／行事予定

「KDUi」は神戸芸工大生の活躍や学内行事などの情報、就活サポートに関する情報などを掲載しておりますので、お子様とのコミュニケーションツールとしてご利用ください。

特集 神戸芸術工科大学の新型コロナウイルス感染症への対策と取り組み

新型コロナウイルス感染症に対し長期的な対応が求められている中、本学では、学生の学修機会や健全な学生生活を守るため、様々な工夫や取り組みを実践しています。

大学行事に関する主な対応

2020年2月1日～8月29日

2/1	国内感染者確認
3/5	コロナ感染拡大予防のための活動自粛 ・学内自主制作活動等の自粛 ・クラブ・サークル活動の自粛
3/20	卒業式の中止
3/30・31	オリエンテーション延期(3・4年)
4/2	オリエンテーション延期(2年)
4/3	入学式の中止
4/3～7	入学許可・新入生オリエンテーション ※入構者ヘルスチェックの実施
4/3～5/6	在学生入構禁止(自宅学習期間) ※履修・就職相談・奨学金申請等は事前電話のうえ入構者ヘルスチェックの実施
4/7	緊急事態宣言発令
4/7・8	健康診断延期
4/10	前期授業開始延期
4/30～5/7	教科書販売〔オンライン受付・大学より配送〕
5/7・8	オリエンテーション(2・3・4年)中止 ※各学科・学年ごとに分散実施
5/11	前期授業開始〔オンライン授業〕 ※一部授業は4/20～実施 学生相談室の再開〔電話相談受付〕
5/21	緊急事態宣言解除
～5/31	在学生入構禁止期間の延長
5/28	コロナ対策ガイドラインの公開 ・基本対策ガイドライン ・授業実施にかかるガイドライン ・食堂、学生会館、図書館等の利用ガイドライン
6/1～	対面授業開始(一部のみ)
6/13・7/4	健康診断
7/16	課外活動の再開(屋外クラブ・サークル)
7/23	課外活動の再開(屋内クラブ・サークル)
7/29～31	感染者発生のため大学構内閉鎖 ※学内に濃厚接触者なし 学内施設の消毒作業の実施
8/3～8	集中授業期間
8/11～15	臨時休校
8/17～29	集中授業期間

本学の主な対応については大学公式サイトからもご覧いただけます。

\ あらゆる方法で感染拡大を防止 /

3密の徹底回避で感染拡大リスクをゼロに

● 教室では

座席を半数に制限して配置を工夫すると共に、密閉空間とならないよう、2か所以上の通気口を確保。また、机・椅子等には抗ウイルス作用のある薬剤を塗布し、消毒の徹底化を図っています。

● 食堂では

カウンターにはビニールカーテン、各テーブルには仕切板を設置し、使用席数を半数に限定。お箸類は個包装のものを使用するなど、飛沫感染や接触感染のない様、徹底管理をしています。

● 中庭では

屋外数か所にテントを張り、テーブルと椅子を設置し、風通しの良い環境でくつろげる休憩スペースを用意しました。

各学生団体の代表者が感染防止を考えるための会議を開催

中庭芝生広場にくつろぎのスペースを

大学内の至る所(204箇所)で手指消毒ができます

感染予防対策の基本として、手指消毒を徹底するため、学内の至る所に手指消毒剤を設置。機械類、工具類、PCなど共有使用の備品のあるスタジオ・工房などには、使用後の消毒ができるように消毒剤を配付しています。

自分自身と、周りの人の命を守るために・・・

学生のみなさんに、自分自身や大切な家族、周りの人を守るための予防行動をとってもらうよう、日々、WEBポータルや学内ポスターで注意喚起を行っています。

保健室にはビニールカーテンを設置、感染症対応用防護服等を備え、学内感染者発生時の体制を整えています。

また、体調不良の学生や留学生、海外からの帰国学生に対しては、専門の看護師が相談窓口となり、関係機関と連携し、継続的な体調確認をしながら、一人ひとりに寄り添ったアフターフォローを行っています。

厳重な衛生管理で安心して相談できる保健室

本学における主な支援

修学支援

- 学修支援金(3万円)の一律給付
  自宅学修のための環境整備・課題制作教具等の購入費として
- 短期貸付制度
  パソコン・タブレットの未所持学生へ機器購入費として(上限10万円)を無利子貸付
- 学生情報機器の貸与
  遠隔授業受講のためのパソコン・iPadの貸出し
- 教科書の郵送購入支援金
  オンライン購入に係る郵送料を大学が負担
- 図書資料の貸出郵送サービス
  本学情報図書館の所蔵資料の郵送サービス(郵送費用大学負担)
- 学内公式無線LAN の拡充
  オンライン教育設備充実のため、学内無線LAN を緊急増設

経済支援

- 「神戸芸術工科大学給付奨学金」
  学資負担者の事故、新型コロナウイルス感染症の影響等による家計急変で、修学困難な者に授業料の一部(1/2:475,000円上限)を給付
- 「一人暮らし学生への経済支援」
  新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的支援を必要とする一人暮らし学生を対象に、一律5万円を給付

芸術工学の英知を生かしてピンチをチャンスに

COVID-19、コロナ危機はグローバル経済の波に乗り突然やってきました。私たち人間は改めて感染症の恐ろしさを思い知り、現在も国内外に感染者は増加し続けています。ご家族の皆様は、刻々と変化する多くの不安な課題を克服しつつお過ごしのこととお見舞い申し上げます。

神戸芸術工科大学では、3月2日にコロナ対策の緊急対策本部を設置し、学内外の最新の情報収集と、大学の方針や対応の協議を重ねてきました。

何よりも、学生・保護者の皆様や、教員・職員の安全と健康を確保し、感染拡大を防ぐ社会的責任の観点から、学生の入構を制限し、TeamsやZoomを活用した遠隔授業の導入や、3密を回避した対面授業をハイブリッド型で実施してきました。

同時に、5月には大学の拠出金と教育後援会、KDU-Netの支援を原資に学生・留学生への修学支援や経済支援を行いました。この場を借りて皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

この夏休みも、学修機会や健全な学生生活を保証するために、集中講義や補講を行いながら、最新のweb教育環境の整備を実施しています。

新型コロナ対策は長期化が予想され、変化に対応する短期的課題解決と中長期的な対応が求められています。これからの大学の取り組みは、特に安全で健康的なキャンパス環境を維持することはもちろんですが、一人一人の個別指導を大切にしている本学の対面教育と、先端のオンライン教育を実施し、大学院と7学科25コースの多様性を生かしながら、新しい芸術工学の英知を生み出していきたいと考えています。

今後も、私たちは神戸芸術工科大学の目的と社会的責務を果たし、困難な状況の中でも持続的に学生と教職員の生命の安全と安心を獲得する施策を立案し、実践していきたいと思います。ご支援のほどよろしくお願いします。

学長　齊木 崇人

特集

コロナ禍の取り組み
神戸芸工大生のいま

各学科のコロナ 禍での授業への
取り組みを　紹介します。

環境デザイン学科
講義も実習もゼミもオンライン中心で

前期オンライン授業の取り組み

卒業式、入学式、オリエンテーションが全て中止となり、授業は基本的にオンラインという方針が決まったあと、5月11日に授業が開始されるまでの1ヶ月半ほどの間に、オンライン授業と感染防止対策などについて、学科を挙げて万全の体制を準備しました。

前期は、講義も実習も4年生のゼミも、基本的にオンラインで行いました。ネット上に授業のための場所が用意され、講義は教員が自分で作った授業動画を時間割どおりに配信します。その中で教員は、画像や動画を映しながら教室と同じように講義をし、学生はパソコンやスマホで視聴します。レポートも課され、ネット経由で提出します。質問も自由に行えます。

設計の実習は、画面上で学生の案を見せてもらい、複数の教員がアドバイスをします。その場で図面に赤入れも可能です。授業の進捗状況に合わせて説明動画を配信したり、手描きの修正図面を共有システムを使ってやりとりもしました。

ゼミは数名ですから、全員の顔を見ながら和やかに行なっています。実際に会えないのは残念ですが、オンラインゼミは出席率も資料の準備状況も普段にも増して良いという教員の感想も聞かれます。

7月からは、一部の授業で対面型も再開しましたが、人数と授業日時を分散させ、教室の換気を強化するなどの感染対策を十分に講じた上で実施しました。

2年生向け実習の講評会の様子。学生から送られた図面を映しながら講評を行った

動画配信による講義の様子。動画は繰り返し見ることができるので便利だという学生の反応もあった

後期へ向けて

前期は無事に進みましたが、後期についても、感染拡大や社会状況などを考慮しながら慎重に判断したいと思っています。

対面型授業の様子。三密を避ける工夫をし、教室の換気を強化するなどの対策を講じて実施した

ビジュアルデザイン学科
リアルタイム配信で学科と学生との繋がりを実感

遠隔でも気軽に相談できる体制に

本学科では、まず学生が所有している情報機器端末を調査し、Microsoft Teamsを用いて、スマートフォンでも受講ができるようなオンライン授業の実施を決めました。5月初旬にオリエンテーションを行い、授業の配信方法を全員に説明しました。また、学科独自に相談窓口を設け、気軽に学生と教員が応答できる環境を整えました。

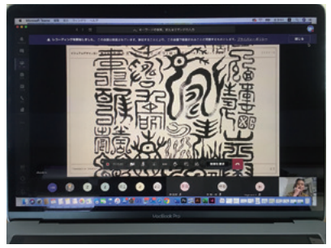
授業資料の配布や、課題提出などは、手法をある程度統一し、学生が混乱しないようなシステムを考えました。リアルタイム配信型の必修科目に参加できていない学生には、その場で連絡を行うなど、Teamsを介して学科と学生が繋がっていることが実感できるような場所を作りました。講義授業などはこれまでよりも出席率が高くなりました。

健康状態や履修相談など、学生の個人的な相談も随時受け付け、返答可能な教員が対応にあたっています。

オンラインで学生企画のイベントを実施

学生自身の取り組みも生まれ、4年生の有志がオンライン配信を用いた自主企画イベント “visual distance radio” を実施。上級生の課題作品やインターンシップなどの取り組みを、後輩たちに向けてプレゼンテーションしてくれました。

現在は大学への登校も可能になり、対面での授業も実施されていますが、今後も社会の状況に合わせて、全ての学生にとって学びの機会が途絶えることのないよう、臨機応変な学科独自の取り組みを継続したいと考えています。

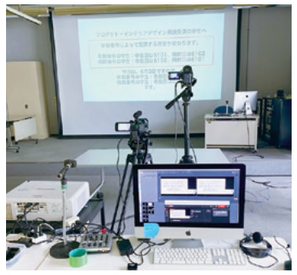

リアルタイム配信での講義授業の様子

「デジタル表現Ⅰ」(1年必修科目)の授業風景
距離をとるため、使用できるパソコン台数を減らし、キーボードにカバーをつけて、使用者本人による入退室時の消毒・清掃を徹底しました。

プロダクト・インテリアデザイン学科
ライブ映像の同時配信や屋外空間の活用で密を回避

教室を2ヶ所に分けて密を回避

本学科では、新型コロナウイルス対策として講義で使用する教室を2ヶ所に分けて、3密を回避しています。講義はメインの教室から中継によるライブ映像をプロジェクターで投影し、受講学生も2班に分け、入れ替え制により受講時の公平性を確保しています。


講義メイン教室からのライブ中継の様子

三密を回避しながら受講する学生たち

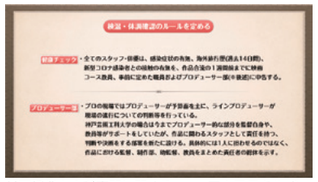
屋外空間も有効活用

実習作業においても3密回避対策として、1階スタジオの外側に仮設で屋外用のテントとタープを設営しました。実習課題の制作は、どうしても密になりやすく、可能な限り実習可能な場所の確保のため、仮設による屋外空間の活用は有効な方法となりました。これからの季節、突然の豪雨や風、熱中症にも備えて活用していきたいと考えています。

換気・密集対策として、仮設テントとタープを設置し、屋外に作業スペースを拡充

屋外空間を活用した実習作業

映像表現学科
こういう時期だからこそできることを


対面授業および実習に関するマニュアル冊子を作成

安全対策や学生の質問に答える説明会を開催

対面の実習ではコロナ対策に加え、熱中症対策を徹底

現場の意見を元にマニュアルを作成

『コロナ禍だからできない』という後ろ向きに諦めるのでは無く、『こういう時期だからこそできること』を見つけ、『これまでのやり方を改める機会』として前向きに取り組めるよう知恵を絞っています。また、学生がどのように考えているか、特に4年生にとっては重要な最後の1年となるので、作品制作に対する想いを大切にできるよう意識的に耳を傾けました。

リモート授業の準備と並行して、同じく映画を教えている他大学やプロで活躍されている現場のスタッフと情報や意見を交換し、本学の実態に沿って対面授業に関するマニュアルを作成しました。
①実習前後の感染リスクをどう減らすか、
②万一感染の疑いが生じた場合どのように対処するか、状況に応じた対応をまとめ、説明会を行うと共に、他のリモート授業と同様に、動画記録を行ってオンデマンドで繰り返し確認できるようにしました。

困難を乗り越え成長へ

映画コースでは、期間の短縮や安全対策のため、撮影チームの負担は例年以上に増え、かなりの制約がある中、協力し合い、作品制作に取り組んでいます。責任感を持って作品づくりや現場づくりをしている姿はいつも以上に頼もしく、学生達が急速に成長しているのを感じています。

価値観ややり方、意識は違えども、困難を乗り越えるという気持ちは共通しています。これを乗り越えた学生達がどのような作品を完成させ成長していくのか、学生達の想いをサポートしながら見守り続けていきます。

特集

コロナ禍の取り組み
神戸芸工大生のいま

各学科のコロナ 禍での授業への
取り組みを　紹介します。

ファッションデザイン学科
ソーシャルディスタンスを守って「良い間隔」を「良い感覚」に！

ファッションデザインコース（トワルチェック）

テキスタイルデザインコース（ニット制作）

ソーシャルディスタンスを考える

ソーシャルディスタンスとは、もともと社会的距離のこと。私たちは、普段から、ソーシャルディスタンスを無意識のうちに取り入れてきたのかもしれない。心地よい距離感はいつもスタジオを良い空気にしてくれるし、制作に躓いていても、先生たちや友人との関係がその問題を解決してくれたり、程よく快適に過ごすことができている。時々、グループで騒いだり意見交換が加熱して、妙に「密」になっていたりするけどね…というのは学生たちの声。

新しい距離感を

本学科では、コロナ感染予防として、3密を避けるべくスタジオの座席や設備の配置なども工夫しながら対応に努めてきました。ファッション独特の設備や備品を使用する上で、熱が発生するものや少々危険な取り扱いの器具もあり、普通に考えるとかなり密接に指導する場面も求められるわけですが、今期については、そこも何とか工夫して教員・学生一丸となって制作を進めてきました。

学生たちの言うように、本学科はもともと良い距離感の中で制作に励んできましたが、これからはウィズコロナとして新しい距離感を確立しながら、作品の精度を落とさぬよう頑張って参ります。

ファッション企画コース（ブランド企画）

アート・クラフト学科
学科一丸となってコロナ禍で学ぶ環境づくりを

新入生の不安軽減への取り組み

本学科では感染予防対策として、まず4月の時点で少しでも新入生の不安を軽減する為、大学入門セミナーの一環として教員が直接学生ひとりひとりに電話し状況確認を行いました。また同時にオンデマンド形式での授業を始動。各コースの特色や技法、また教員の作家活動等を紹介するアート・クラフト概論をはじめ様々な授業において内容を撮影し、動画編集から配信まで試行錯誤を繰り返しながら全教員一丸となって行いました。

技法紹介動画を撮影し、アート・クラフト概論にて配信

対面授業での感染対策

3年演習授業にてシールドを使用しミーティング

一方で、手を動かし素材に触れながら表現や技術を学ぶことを主とする本学科の特性上、工房を使っての実習授業は欠かせません。6月になりいよいよ対面授業が始まると、感染予防対策として工房入出時の体温測定及び入出者記録、手指消毒徹底の注意喚起や看板の配置、各作業机の間にシールドを設けるとともに換気を常時行うなど配慮しながら授業を進めています。

また、3密回避対策として、課題説明時にビデオカメラで手元を映しモニターを通して学生に明示したり、屋外にて講評を行う等の工夫もしています。引き続きコロナ禍で学ぶ環境の確保を熟考しつつ、きめ細やかな対応を心がけていきます。

2年実習授業で手元モニターを用いた課題説明

まんが表現学科
オンラインの利点を活かして

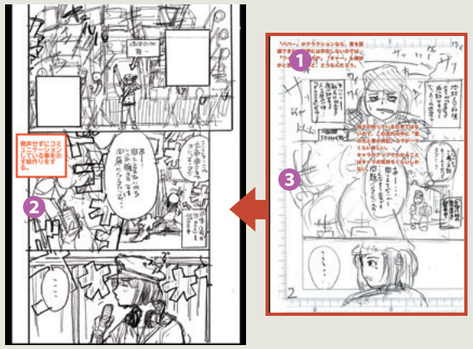
カリキュラムバランスを考えリアルタイムの授業を

オンラインでの授業と対面授業を、別種の授業形態として捉え、それぞれの特徴と利点を活かす方法を検討。まんが表現学科では、オンデマンド配信型授業が多くなり、課題に追われたりすることがないよう、学科のカリキュラム構成のバランスを考慮しリアルタイム配信型オンライン授業を採用しました。

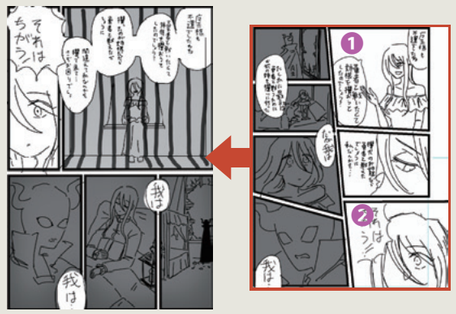
オンライン用に資料を全面的に再構築

「視覚芸術基礎」では、教員が図解したり書き込む前提でオンライン用にレジュメや資料を全面的に再構築しました。iPadで表示した画面に書き込みながら講義をすることで、どのようにノートを取るかがはっきりわかり、学生の理解度やコメントシートの積極性はこれまでと遜色のないものになりました。

添削ビフォーアフター



❶ 音が認識できない世界で騒音を表現する場合、言葉だけではなく、「発生源と擬音語の併記」のコマがほしい。
❷ 発声せずにコミュニケーションしている絵作りを。
❸ 言葉だけではわかりにくいため、ラフに構図をカットする。
（講評：菅野博之）



❶ 一コマ目を大きくして、中央に主人公を据え、周囲をセリフで満たして「冷たさ」を表現する。
❷ 2コマ目で「違う」を入れ、その下に魔王の回想を並べるように組む形にすればもっと良くなると思う。
（講評：川中利満）

大学院 芸術工学研究科
対面・リアルタイム・オンデマンド配信と3種類の方法で確実に受講できる授業を

ワークショップやプロジェクトもオンラインで

大学院では、自粛期間中からオンライン授業、オンデマンド授業を開始、6月末からは一部で対面授業を再開し、コロナ感染予防を図りつつ、履修者全員の授業参加を目標としました。大学院の基幹科目「芸術工学特論A」のワークショップでは、登校できない学生も確実に受講できるよう、対面授業やオンライン授業に加えてオンデマンド配信を行い、インターネットで受講した学生にも、実際に技法やプロセスを体験できるようキットを配布しました。地域連携のアートプロジェクトを実践する「プロジェクト科目C」では、学生の現地活動は断念しましたが、教員が現地と大学をつないで連絡を取り合い、学生の企画した住民参加型アートを間接的な方法で実現するなど、様々な工夫で従来の状況と遜色ない十分な学習を実現しました。

「プロジェクト科目C」では、地域の子供達の「願い事」が書かれた絵馬を構成して大きな作品を制作し、地域イベントで展示しました。

テセレ ーションの手法を用いたワークショップで、かたちや空間デザインの技法を体感しました。

「アカデミックリテラシー」では、PDF資料を見ながら、Youtubeにアップロードされた講義を視聴しました。

前期授業を終えて

コロナ対策を駆使し、様々な工夫で授業を実施された先生方の感想を聞いてみました！

オンライン授業のよかった点

動画を繰り返し視聴できることで効果は上がっている。予習課題⇒動画授業の視聴⇒復習課題という流れにより、取り組みが濃くなっている。（基礎英語）

授業後の質問は全員で共有でき、後で見返すこともできるのは良い点。チャットにて個別に対応できるので、対面が苦手な学生も周りを気にせず質問できる点もメリットが高い。（デジタル表現Ⅰ）

ほとんどの学生は課題を完成させることができた。映像で細かい手作業を繰り返し見ることができた点が良かったようだ。（テキスタイルデザイン演習Ⅰ）

事前に色サンプルの動画を配信したことが対面授業の予習になり、作業が例年より早く進んだ。（美術実習B）

ゼミでの研究内容の相談時には、画面共有で資料提示が必要となるため、毎回学生側で何らかの資料を用意してくる習慣が身についてきた。画面共有で発表する際の緊張感や集中度は対面ゼミの場合よりも高い。（卒業研究E）

オンライン授業における難点

模型づくりでは「正しくつくる」はクリアしているが「きれいにつくる」のハードルが高い。（図学・製図基礎実習）

PCを持っていない（スマホ視聴）学生に対する教育効果が気になる。（建築構造入門）

学生の顔が見えないため、課題にかける時間等の実態がつかめない。（編集演習総論）

制作のなかで、周囲から刺激を受け、理解を深めるといった空気感なく、個別に課題をこなすことで学びが限定されてしまう。（ドローイング）

後期以降への課題

ポータル、メール、Teams、zoomなどオンラインツールが多いと混乱するので、使用するツールはできるだけ限定したい。（DTP実習）

デッサンは描く環境作りにも注意が多く、制作途中段階の個別指導こそが重要。対面での高い教育環境を維持し、ウィズコロナのモデルケースを作っていきたい。（デッサン基礎実習）

分散登校で制作時間が少ないため、延長時間を増やしてあげたい。（クラフト特別演習）

質疑応答の多さ、学生の反応など、オンラインなら気軽に参加できるプラス面を引き出し、対面授業がメインになっても遠隔授業の選択肢を残していきたい。（作画技術演習）

※教員前期授業状況アンケートより（抜粋）

学生からも「安全に自身のペースで学べるのでよかった」という評価を聞いています。
次号は現在実施中の学生アンケートの結果をお知らせします。

新型コロナウイルス 感染症の発症時の対応

● コロナ感染症に類似した症状がある
発熱（37.5℃以上）、咳、鼻水、のどの痛み、倦怠感
味覚障害、息苦しさ など
● 濃厚接触者の疑いがある（無症状の場合も含む）

平日
学生生活・国際交流課へ連絡
078-794-5024

夜間・休日
神戸市 新型コロナウイルス専用健康相談窓口へ連絡
078-322-6250　24時間対応

または
地域の保健所へ連絡

かかりつけ医または指定医療機関を受診

PCR検査実施
- PCR検査 陽性 → 指定医療機関または療養場所での治療
- PCR検査 陰性 → 指示された期間の自宅待機

PCR検査なし → 医療機関・保健所の指示に従う

大学入構許可

保護者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症は、大学生のような若い世代は無症状や軽症の人が多いことがわかっています。お子様が安心・安全な学生生活を送ることができるよう、ご家庭においても、「新しい生活様式」を踏まえた取り組みにご協力をお願いいたします。

①毎日の健康観察
②手洗いの励行
③咳エチケットの徹底
④3密の回避
⑤抵抗力を高める

本感染症は、まだわかっていないことが多くあります。いろいろな報道がされていますが、正確な情報を自分たちで得るよう政府や地方自治体、厚生労働省などの公的機関のHPなども参考にしてください。

本学学生が新型コロナウイルスに感染、または感染者と濃厚接触した場合は「登校禁止」の対応となります。

- 感染者と濃厚接触したと疑われる場合にも、登校禁止となります。
- 療養後、治癒したと証明する主治医の診断書により、登校可能とします。
- 感染やその疑いなどで授業を欠席せざるを得ない場合には、本学は修学上の配慮をします。上記のいずれの場合も必ず大学事務局に連絡してください。

※連絡先：神戸芸術工科大学・学生生活国際交流課
TEL: 078-794-5024

キャリアセンターからのお知らせ

キャリアセンターの利用について

キャリアセンターでは、卒業後の進路に関するサポートだけではなく、在学中の資格取得やキャリア形成に役立つ情報も提供しています。情報収集や就職・進路相談、先輩のポートフォリオ閲覧など、1年生から気軽にご利用ください。

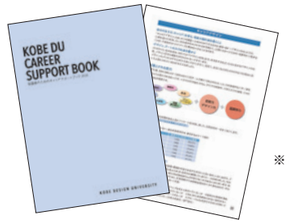
4年生 就職活動中の方

この時期になると、就職活動や進路についての「焦り」や「不安」など学生が抱える悩みは様々です。9月以降も企業からの求人は大学に届きますので、一度キャリアセンターにお越しください。キャリアセンターでは面談を通して、一人ひとりの相談に対応します。保護者の方からの相談も随時受け付けております。

※企業等から内定を得た方は、速やかにキャリアセンターへ報告してください。

3年生 後期は就職活動に向けて大事な準備期間です。

2021年3月1日に求人情報が公開され、就職活動が解禁します。3年生の後期は就職活動の準備期間という認識を持ち、「自己分析」「業界・企業研究」「志望企業のリストアップ」「ポートフォリオ、応募書類の準備（志望動機、自己PRなど）」「筆記試験・面接対策」などの準備をしっかりと行うことが必要です。3年生を対象に開催する就職ガイダンスでは、それらの対策プログラムを組んでいますので、積極的にご参加ください。



※ 8月上旬に保護者向け就活冊子「CAREER SUPPORT BOOK2020」を郵送しています。ご活用ください。

3年生対象全員面談

7月から8月にかけて、3年生全員を対象とした個人面談を実施しました。進路登録票の提出と、希望する進路や就職活動に向けて必要な準備について、一人ひとりとお話しました。（進路登録票は6月に郵送にて配付しております。）
ご家庭でも面談内容や進路について話す機会をもっていただけると幸いです。

新型コロナウイルスの影響による変化

今年度は新型コロナウイルスの影響で採用活動の遅れや延期する企業がありました。採用数の抑制傾向が続くとの予測もあります。また、採用方法に関しても大きく変化しています。これまでもインターンシップや書類選考においてインターネットが利用されてきましたが、新型コロナウイルスの影響でさらにインターネットの活用が進んでいます。対面で行われてきた企業説明会や採用面接がオンラインで行われ、最終面接までオンラインで行った大手企業もありました。アフターコロナにおいても、インターネットの利用が続く可能性があります。早期の対策に加えて、通信環境・ビデオ会議のアプリケーションなどの準備も必要です。

本学ウェブサイトにて過去5年間の就職実績を掲載しております。ぜひご確認ください。▶
https://www.kobe-du.ac.jp/support/career/result/

就職・進路に関する問い合わせ
キャリアセンター室　078-794-5035

特集 神戸芸工大生の未来

夢を形にした　二人の４年生に
成功への道のりに　ついて伺いました。

内定者インタビュー

01 建築士としてリーダーシップを発揮できることを目標に

大和ハウス工業株式会社

環境デザイン学科
リノベーションコース
（愛知県立木曽川高等学校 /
津市立三重短期大学 卒業）

光松 孝一 さん

就活データ

志望業界：ハウスメーカー

説明会参加：20 社程度　インターンシップ参加：1社

活動費用：約 7.5 万円 (制作費 0.3 万円、交通費 5 万円
洋服代 0 万円、外食費 2 万円、写真撮影費 0.2 万円)

自己分析を活用し、自分に合う仕事を見つけることができた

高校生の時に建築士が住宅をリフォームするテレビ番組を見て、かっこいい仕事だなと思い、津市立三重短期大学に進学しました。ここで基礎は十分に学べましたが、意匠設計やプラン作成の勉強がまだ足りないと思ったので芸工大へ編入学し、さらに深く広い必要な知識や技術を身につけることができました。

インターンシップでは、あこがれだったアトリエ系の個人設計事務所に行きました。現場に足を踏み入れて初めて、小規模ならではの大変さを知り、自分には難しいのではないかと思いました。また、仕事の適性がわかる自己分析をやってみると、チームの一員として仕事に取り組む方が向いているので、規模の大きな会社がよいという結果が出ました。ですが、大企業で働くことにも迷いがあったため、キャリアセンターで相談し、客観的な意見をいただいて、大手住宅メーカーを目指すことに決めました。

Webによる選考を入念な準備で乗り切りました

就活が本格化してからも、キャリアセンターの方にはずいぶんお世話になりました。エントリーが始まった3月頃から、エントリーシートの書き方や面接の指導を受けるために、納得がいくまで何度も通いました。話し方を練習した効果か家族からも「最近、自信が付いてきたみたい」と言われるようになりました。

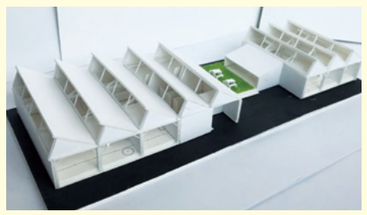
内々定をいただいた大和ハウス工業株式会社の採用試験では、会社の人と一度も会うことなく、Webでテストやプレゼン、面接が行われました。会社で行う自由設計が内定者を決めるポイントになると思い準備していましたが、実施されず戸惑いました。しかし、出来る準備はしっかりとやっていたので、心の余裕はありました。また、採用を意識して力を入れ過ぎることなく、志望する会社で働く姿をイメージしながら自然にアピールできたのもよかったと思います。

就職後は、お客様の要望を形にし、安全で、安心して長く住んでもらえる住宅を設計していきたいです。そして、将来は、リーダーシップを発揮して活躍する建築士になることが今の目標です。

在学中にチャレンジしてきたこと

設計課題では、仕事でお客様の住宅を設計する場面を常にイメージし、生活の中での使いやすさを重視しました。

多様な家族形態の人々が住むシェアハウスの設計



一宮市のシンボル、のこぎり屋根工場
のリノベーション計画

建築の知識がない人にもわかるよう、ポートフォリオはイラストや文章を工夫しました

就活で結果を出せたのは、思いついた事や興味を持った事にチャレンジし続けたからだと思います。

内定までの道のり

- 3年夏　個人の設計事務所のインターンシップに参加。自己分析を実施
- 3年12月　大和ハウス工業株式会社含め複数の会社にエントリー
- 3年1月　合同説明会や企業説明会に参加
- 3年3月　企業へのエントリーを開始
  WEBテストやWEB面接等を経て
- 4年5月　大和ハウス工業株式会社に内々定

内定者インタビュー

02 魅力あるブランドを発掘し、それを育てるお手伝いがしたい

株式会社アクセ

ファッションデザイン学科
テキスタイルデザインコース
（広島県立神辺旭高等学校 卒業）

日高 由樹子 さん

就活データ

志望業界：繊維・アパレル

説明会参加：20 社程度　インターンシップ参加：1社

活動費用：約 22 万円 (制作費 0.2 万円、交通費 15 万円
洋服代 3 万円、外食費 3 万円、写真撮影費 1 万円)

会社が求める人物像に合う部分を自分の中から見つける

ファッションへの興味から芸工大に進学し、デザインの基礎や素材の知識などを学びました。専門性を活かせる仕事がしたいと思ったので、最初は生地のメーカーにエントリーしました。

なかなか最終面接まで進めず、悩みました。両親に打ち明けると「あなたが選ばれる側なんだから、選んでもらえるように合わせないといけないんじゃない」と言われ、それがヒントになりました。就活はお見合いだとよく言われるので、自分の100パーセントを見せようとしていたのですが、それからは、会社の方針や個性をしっかり調べて、求めている人物像をイメージし、自分の考えや思い、経験したことの中からその会社に合う部分を探し、そこにポイントを絞ってアピールするようにしました。その途端、最終面接まで進めるようになりました。

就活中は、友達やキャリアセンターの方とたくさん話をしました。友達がうまくいっていると焦りもありましたが、情報をもらったり、自身の就活モードにスイッチが入るきっかけになったりしたのでよかったです。

やりたいこと、できることを見つめ直す時間も大事

新型コロナウイルス感染症による外出自粛が要請された4月以降、自分がやりたいことやできることをじっくり考える時間ができました。思い出したのは高校時代、友達にファッションのアドバイスをして喜ばれたことです。ここから自分の知識と感覚を活かし、お客様に服の魅力やデザイナーの思いを直接伝えることができるアパレル業界を意識するようになりました。そのときに偶然見つけたのが、株式会社アクセの求人です。大好きなセレクトショップなので迷わずエントリーし、内々定をいただくことができました。

就職後の目標は商品のバイヤーになること。国内外にはまだ名の知られていないブランドがたくさんあり、それぞれのこだわりがあります。芸工大で学んだことを活かして、絶対に良いと思えるブランドを見つけ出して育て、ビジネスを拡大させることができればと思っています。

在学中にチャレンジしてきたこと

授業以外でも、自主制作や学外でのファッションショーの手伝いをして、学生生活を充実させています。

「SEIMEI」木材を加工して着るアクセサリーを作り、それを樹木の表皮に見立てました。自然の生命力を表現しています。

「アイゾメノシャツ」藍染でムラ染した生地を活かし、水の流れが感じられるようなデザインのシャツを作りました。

風呂敷のデザインコンペで最優秀賞を受賞。現代の若者でもおしゃれに使える風呂敷を友人と共同でデザインしました。

今は卒業制作の真っ最中。学んだことの集大成として、自分が納得できる作品を全力で作っています。

内定までの道のり

- 3年夏　インターンシップに参加
- 3年1月　求人サイトでの会社探し
  会社説明会に参加
- 3年3月　合同説明会や企業説明会に参加
- 4年5月　企業へのエントリーを開始
  面接等の選考を経て
- 4年6月　株式会社アクセに内々定

お知らせ

学生フォーラム執行部より

「2020年度 芸工祭」の開催中止について

2020年10月開催予定であった「芸工祭2020」について、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、参加者の皆様の安全を最優先に考え、開催を中止することといたしました。楽しみにしていただいていた皆様には、大変心苦しいお知らせとなりますが、何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

大学祭実行委員 代表　古池　萌乃
学生フォーラム執行部 会長　栗原　梨緒

教育後援会より

2020 年度 教育後援会総会について

2020年度総会における下記の審議事項について、このたび書面審議にて会員の皆様のご意見を伺いましたが、異論がなく、常任委員会において原案どおり議決しましたことをご報告いたします。

1. 2019年度 教育後援会 事業報告
2. 2019年度 教育後援会 収支報告書
3. 2020年度 教育後援会 事業計画
4. 2020年度 教育後援会 予算

教育後援会は今後も大学の様々な活動を支援して参りたいと思いますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

教育後援会　会長 森山 昌広

事務局より

後期学費納入について

令和２年度後期の学費納入についてお知らせいたします。
納入日に残高不足等のため口座振替できない場合は滞納となりますので、必ず前日までにご入金ください。

納入日　令和２年10月27日（火）

経済的な理由などから学費を期日までに納入することが難しい場合は、「延納制度」または「分割納入制度」をご利用いただけます。各制度の利用を希望される方は、所定の願出用紙を期日までにご提出ください。

手続期限　令和2年10月7日（水）17時

※学費延納・分納、学資クレジット（本学園・信販会社連携）の利用については、それぞれ手続期限がありますので、お早目に学生生活・国際交流課までお問い合わせください。

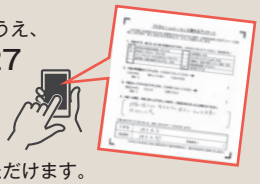
行事予定 2020.9.1～2021.3.31

9月		
11	金	前期成績発表（４年）
21	月	後期オリエンテーション
		前期成績発表（１～３年）
28	月	後期授業開始
10月		
3	土	履修登録締切
4	日	教育懇談会（本学）
7	水	後期学費延納・分納手続期限
27	火	後期学費納入日
11月		
23	月	月曜日の通常授業日
12月		
28	月	冬期休業開始
1月		
5	火	後期授業再開
20 水・26 火・27 水・28 木・29 金		補講日
2月		
1 月・2 火・3 水		補講日
4 木・5 金・8 月・9 火		後期末試験日
12 金・13 土・14 日		卒展
16 火・17 水		追試験日
3月		
6	土	成績発表
27	土	卒業式
30	火	2021年度オリエンテーション（4年・予定）
31	水	2021年度オリエンテーション（3年・予定）

アンケートにご協力ください

より充実した誌面作りのために、保護者のみなさまからのご意見・ご感想をお聞かせください。なお、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10名の方に「図書カード（1,000円分）」を進呈いたします。ぜひご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

アンケート回答用紙をご記入のうえ、
FAX 078-794-5027
または、写真を撮ってメール
添付でお送りください。
kdu-i@kobe-du.ac.jp
※右記のQRコードから送信いただけます。



KDUi Vol.32-1 | 2020・9 No.90

神戸芸術工科大学
KOBE DESIGN UNIVERSITY

編集・発行…… 神戸芸術工科大学　学生生活・国際交流課
制作…… （株）くとうてん

〒651-2196　神戸市西区学園西町8-1-1
TEL 078-794-5024　FAX 078-794-5027
HP▶https://www.kobe-du.ac.jp/about/release/kdui/
E-mail▶kdu-i@kobe-du.ac.jp